地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その36

文：田崎 敬修 さん

長岡藩若武者の墓

この話は、常楽寺に新政府軍の本営が置かれた、慶応４年（1868）10月13日（新暦）の昼下がりのことです。

会津戦争の時、会津一円は戦場となりましたが、野沢宿では戦乱の被害を受けることはありませんでした。

苦水（現在の四岐川と雷山公園山麓などに挟まれた辺り）という所で農民たちが畑仕事をしていると、宿外れの一本杉の方から白鉢巻に紺かすりの色あせた白い袴の若い武士２人が狂ったように走って来たかと思うと、その後を数人の新政府軍の武士が声を立てて追って行ったのです。

今も常楽寺に残る２人の長岡藩士の墓

やがて夕方近く、新政府軍の一隊に左右を囲まれ後ろ手に縛られ青ざめた顔の二人の若い武士が、坂の方から連れて来られました。農民たちの畑の所まで来ると本営まで連れて行くのが煩わしかったのでしょうか、その場で２人を簡単に斬ってしまったのです。憐れに思った農民たちは、亡骸を丁重に埋葬しました。武士の姉妹からもらったと思われる財布の中から藩と姓名が書かれた手紙が見つかり、２人は長岡藩士岡村半四郎と中田良平という武士であることが判明しました。当時、会津軍は城下を守備するため10月10日に津川から全軍撤退して舟渡に防衛の陣を敷いており、２人は撤退軍からはぐれ逃げ遅れたのでしょう。

２人の墓は常楽寺にありますが、首と胴がバラバラだったため、首の墓と胴の墓に分けた墓石が２つ立っています。

参考文献＝『西会津町』

今月の表紙

２月22日に西会津小で行われた「西会津かるた大会」より。町の歴史や偉人、文化、自然をテーマにした町オリジナルのかるたを通し、児童の皆さんは楽しみながら町について学んでいました。（10ページに関連記事）

お知らせ

平成30年12月から運用を開始している西会津町の公式フェイスブック「なじょな町、西会津。」と、公式ホームページのQRコードを掲載します。

皆さん、ぜひご覧ください。

西会津町ホームページ Nishiaizu Town

なじょな町、西会津。 Nishiaizu Town

Nishiaizu

広報にしあいづ №738　令和２年４月号
発行／福島県西会津町　編集／企画情報課　TEL 0241-45-2211（代表）
ホームページ　https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/

PRINTED WITH SOY INK
この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。